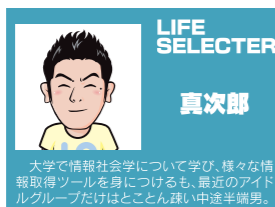




TRIVIA for LIFE

トリビアを求めて



大学で情報社会学について学び、様々な情報取得ツールを身につけるも、最近のアイドルグループだけはとことん詳しい中途半端男。

情報化社会と呼ばれる昨今、世の中には様々なモノが溢れています。それはこれまでになかった、全く新しい商品だったり、現代のニーズを鋭く突いたビジネスだったり、浮き世を忘れさせてくれる快楽の世界だったり…。あなたはいくつ知っていますか？そしてそれらはあなたを癒してくれていますか？知らなくても明日からの生活に支障をきたすモノではない。でも知っていればきっとあなたの日々にとっての潤滑油になってくれるであろう情報をパチスタ編集部員がお届けします。ナビゲーターは、地元・福岡をトコトン愛す男・真次郎がお届けします。些細でちょっと素敵なトリビアをご覧ください。

数年前より全国で広がっている「工場見学ブーム」。身近で経済的に楽しめるスポットとあって、近年参加者が増えているそうです。今回はそんな工場見学の中でも福岡ならではのオススメスポットをご紹介します。

それがJR竹下駅にほど近い場所にある「(株)山口油屋福太郎」。博多を代表する名産品・明太子などを製造する会社ですが、約10年前から開始した工場見学がこれまでに50万人を動員する大人気ぶりなんだとか。そんな人気スポットを今回取材することに成功。今回のお供はもちろんこの人！同名にあたる福太郎です(笑)。

工場内の特設ブースに案内され、まずスタッフやVTRによる明太子についての説明を視聴、さらには資料や実際の工場での作業を一部閲覧。

PICK UP

(株)山口油屋福太郎

カブシキガイシャマグチアブラヤフクタロウ

10月22日には毎年恒例「福太郎まつり」を開催。3千~4千人の来場が見込まれ、当日は特売会や工場見学、そして特設ステージでのヒーローショーなどイベント盛りだくさんと要注目ですよ！

あなたは福太郎の全てを知ることになる…

その際に学んだトリビアを1つご紹介。実は明太子は韓国から広まった食文化ということ。17~18世紀頃、朝鮮の漁師たちはスケトウダラが捕れると魚本体よりもおいしいということで、その卵を取り出し塩辛などを作って食べたのが始まりだそうです。この文化がいつしか海を越え九州は福岡に渡り、これに唐辛子をまぶし保存したものが、辛子明太子の原型となっています。元々は韓国の食べ物だったとは驚きです。

その後、工場で作られた明太子やお菓子を試食。自慢の明太子は甘みある味わいの中にもピリッとくる辛さが程よくGood!! あったかご飯と共に豪快な勢いで食す福太郎の顔は最高に幸せそうでした(笑)。

工場見学以外にも併設しているレストランでできたての明太子と一緒に季節に合わせた料理を食事できたり(※完全予約制)、売店でショッピングも楽しめます。工場見学限定の品やTVやインターネットでの紹介で大人気商品となった「めんべい」などバラエティーに富んだ品揃えで私たちを楽しませてくれます。

今回ご紹介したのはほんの一部。ぜひあなた自身の目で明太子と福太郎の全てを確かめて下さい！

■今回の取材協力施設

(株)山口油屋福太郎

TEL.092-473-2086 ADD.福岡市南区五十川1-1-1
ホームページはコチラ…http://www.fukutarou.co.jp

福太郎's Eye
工場見学の後に何と試食付きということで僕にピッタリのスポット！団体でも個人でも十分に楽しめ、お土産もリーズナブルといつづく。連日盛況とのことなので、まずは一度お問い合わせしてみるのがオススメです！

LITTLE THE SPICE

リトル・ザ・スパイス

あなたの日常にちょっとしたシゲキを…



Comic The World

コミック・ザ・ワールド

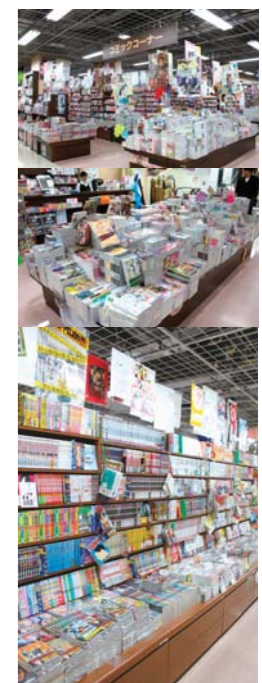


パチンコ・パチスロの次にマンガが好きで、ヒマさえあればマンガを読んでいる。本人曰く、マンガが好きでありマンガオタクではないとのこと。

もし、何かしらのブームが突然起こったり、あまり知られていないジャンルのことを題材にした新台が出たときに広い知識があれば、他人より一歩先により深く楽しむことができます。

では、どうしたら簡単に知識を広くできるのか？私は手軽に楽しめる「マンガ」という手段で知識の幅を広げてきました。このページでは、私が今まで読んできたマンガの中で楽しく知識を得られた作品を紹介いたします。

ぜひ、このページで紹介した作品を読んで、日々の生活はもちろんパチンコ・パチスロを遊ぶときにも、より深く楽しんでもらえたらと思います。



恐らく農家に関わりがある人以外にはあまり馴染みのないであろう「農業高校」。今回はその農業高校を舞台にしたマンガ「銀の匙 Silver Spoon」を紹介します。原作者は累計発行部数5,000万部以上を売り上げ、連載中の別ストーリーで2度もアニメ化されたファンタジーマンガ「鋼の錬金術師」の荒川弘氏。ちなみにこの「ハガレン」、最終回が掲載された月刊誌があつという間に完売し、読者の要望を受け2ヶ月後に最終回を再掲載する異例の事態を引き起こしました。そんなモンスターマンガの作者が、前作とは全く逆の世界観で新境地を開拓しているのがこのマンガです。

高校を舞台にした作品では「普通科」や「工業高校」が舞台になることは多いですが(後者はほとんどヤンキーマンガですが…)、本作の舞台は

PICK UP

銀の匙 Silver Spoon

ギンノサジ シルバースプーン

-Information-
原作:荒川弘
発行:小学館
連載期間:2011年~
コミックス:1巻~(以下続刊)

-Story-
農家とは縁もゆかりもない主人公・八軒勇吾は有名な進学校に通っていたが、激しい学力競争に敗れ自信を失い家族と距離を置いてしまう。家に帰りたいくない勇吾は、「家に帰らなくて済む」という理由で、生徒の多くが農家の子供という全寮制の農業高校「大畑実業高校」に入学する。動物と自然に囲まれ汗と涙と土にまみれた八軒勇吾の青春物語が今始まる!

超人気マンガ家が描く農業高校学園ドラマ!!

「農業高校」。しかも、話の内容はガチで農業に関する話ばかりです。このように書くとものごく小難しい作品のように思えますが、そこは5,000万部を売り上げた人気マンガ家。農業とは無縁の主人公を中心にギャグを織り交ぜつつ非常に楽しく読むことができます。農業の話も、農業のことに無知な主人公がイチから学んでいく形で進むので、自分が農業に無知でも同じ目線で学べてすんなり知識が頭に入ってきます。

この作中、高校での授業はもちろんですが、同じ高校に通う様々なジャンルの農家の跡継ぎが出てきて、仕事の内容はもちろん、それぞれの仕事に対する姿勢を見せてくれます。経営を合理化して使えなくなった家畜はすぐに廃棄処分になってしまう農家、家畜に感情移入し、家族のように家畜を飼う農家等、農業経営にも様々なスタイルがあることがよくわかるようになっていくのもこの作品の特徴です。

本作のストーリーとは関係ありませんが、このマンガを読み、農業というものに触れることで、原発事故の影響により風評被害に遭っている東北地方の農家の方の大変さが、さらに分かるようになった気がします。ぜひ、この「銀の匙 Silver Spoon」を読んで農業に対する知識を増やして欲しいと思います。

COMICS